

# 見積書 (甲)

株式会社 浅川組 御中

2019年6月1日

西暦で記入

6桁の取引先コードを記入

5桁の基本契約コードを記入

取引先コード	4	5	6	7	8	9
基本契約コード			-			

住所・氏名・電話・印

〒640-0000 和歌山市〇〇町1丁目

株式会社 〇〇〇〇  
代表取締役 □□□ □□

担当者:

印

見積金額  
(税込)

1,050,000円

税込の見積金額を記入

工 事 名 称	
〇〇〇〇〇工事 (浅川組の工事名称)	
契 約 名 称 ・ 15文字(漢字)まで	
□ □ □ 工事 (取引先様の工事名称)	
工 期 また は 納 期	
2015年6月30日 ~ 2015年8月31日	
支払条件	貴社の規程による 西暦で記入
施工範囲	貴社「協力業者施工範囲基準」による
見積条件	貴社「見積条件書」による
特記事項	
※ あれば記入	

## 見積書(甲)・・・表紙

※1ページ目に入力すると、2ページ、3ページに反映されます。(入力箇所は①ページのみ)

1ページ目 「①取引業者控」・・・御社にてお控えください

2ページ目 「②本支店用」・・・社印捺印の上、提出してください

3ページ目 「③作業所用」・・・社印捺印の上、提出してください

## 記 入 要 領

1. 見積書(甲)は3枚1組で、①は取引業者控、②③は浅川組宛提出用です。  
見積書(乙)は4枚1組で、①は取引業者控、②③④は浅川組宛提出用です。
2. 取引先コードが設定されている場合は、必ずご記入ください。工事下請負基本契約を締結済みの場合は基本契約コードもご記入ください。工事下請負基本契約を締結していない場合は-をご記入ください。
3. 住所、氏名、印欄は弊社宛にお届けのものをご使用ください。
4. 工事名称、契約名称(工種名又は支払名称)、見積金額、工期は正確にご記入ください。
5. 見積書の記入に際して、疑問のある場合は必ず弊社社員にご確認ください。

# 見 本

# 見 積 書 (甲)

株式会社 浅川組 御中

\_\_\_\_\_年 \_\_\_\_月 \_\_\_\_日

取引先 コード							
基本契約 コード			-				

住所・氏名・電話・印

  
  
  

担当者： 印

工 事 名 称	
契約名称・15文字(漢字)まで	
工 期 ま た は 納 期	
年 月 日 ~ 年 月 日	
支払条件	貴社の規程による
施工範囲	貴社「協力業者施工範囲基準」による
見積条件	貴社「見積条件書」による
特記事項	

見積金額 (税込)		円
--------------	--	---

**記 入 要 領**

1. 見積書(甲)は3枚1組で、①は取引業者控、②③は浅川組宛提出用です。  
   見積書(乙)は4枚1組で、①は取引業者控、②③④は浅川組宛提出用です。
2. 取引先コードが設定されている場合は、必ずご記入ください。工事下請負基本契約を締結済みの場合は基本契約コードもご記入ください。工事下請負基本契約を締結していない場合は-をご記入ください。
3. 住所、氏名、印欄は弊社宛にお届けのものをご使用ください。
4. 工事名称、契約名称(工種名又は支払名称)、見積金額、工期は正確にご記入ください。
5. 見積書の記入に際して、疑問のある場合は必ず弊社社員にご確認ください。

株式会社 浅川組 御中  
見 積 取 極 票

\_\_\_\_\_年 \_\_\_\_\_月 \_\_\_\_\_日

決裁	審査	作業所
----	----	-----

工事コード	契約コード	注文書	単価契約	安全協力会率	変更取消
		1. 要 2. 不要			
工 事 名 称					
契約名称・15文字（漢字）まで					
工 期 ま た は 納 期					
年 月 日 ~ 年 月 日					
支払条件	1. 規定条件（締切日-月末、支払日-翌々月5日 現金）				
	2. 規定外条件				

取引先コード					
基本契約コード		-			

見積金額（税込）						円
査定内訳	工事価格					
	消費税					
	査定金額（税込）					
決定金額（税込）						
精算金額（税込）						

住所・氏名・電話・印			
担当者：			
対応予算金額（税抜）			
費目	名称		
		費目コード	対応予算金額（税抜）
内訳			

施工範囲	貴社「協力業者施工範囲基準」による
見積条件	貴社「見積条件書」による
特記事項	

**現場担当者記入要領** （現場担当者は、        の箇所を記入すること。）

1. 注文書欄は、注文書発行が必要か不要かによって該当文字を○印で囲むこと。
2. 取引先コードおよび基本契約コードが確実に記入されているか確認すること。コード未決定の場合には契約できないので至急取引業者に工事下請負基本契約書、銀行口座振込依頼書（取引業者所定用紙でも可）を提出させたい登録手続きをとること。
3. 支払条件欄は、該当する条件を○印で囲むこと。規定外条件の場合は条件を支払条件欄に記入すること。
4. 決定金額欄には、決裁者が記入するので現場担当者は査定金額まで記入するにとどめること。
5. 対応予算欄の費目コードは実施予算のコードを記入のこと。実施予算未決定の場合は想定費目コードを記入すること。費目名称（漢字記入）、予算金額も対応予算を記入すること。
6. 見積取極に対応する予算費目が分かれる場合、必ず内訳欄に記入すること。この場合対応予算欄の費目コードは代表するコードを記入すること。

# 見積取極票

\_\_\_\_\_年\_\_\_\_月\_\_\_\_日

決裁	審査	作業所
----	----	-----

工事コード	契約コード	注文書	単価契約	安全協力会率	変更取消
		1. 要 2. 不要			
工事名称					
契約名称・15文字(漢字)まで					
工期または納期					
年 月 日 ~ 年 月 日					
支払条件	1. 規定条件(締切日-月末、支払日-翌々月5日 現金)				
	2. 規定外条件				

取引先コード					
基本契約コード		-			

住所・氏名・電話・印					
担当者:					
対応予算金額(税抜)					
費目		名称			
内訳	費目コード	対応予算金額(税抜)			
訳					

見積金額(税込)						円
査定内訳	工事価格					
	消費税					
	査定金額(税込)					
決定金額(税込)						
精算金額(税込)						

施工範囲	貴社「協力業者施工範囲基準」による	区分						
見積条件	貴社「見積条件書」による	出来高締切月	月	月	月	月	月	月
特記事項	支払明細	出来高・納入高						
	累計金額	上記に対する						
	分金	前月迄の累計額						
	当月	当月						
	差引支払額	累計額						
	捺印欄		承認 作業所					